



日々の損益を「見える化」して確実な成果を上げる

# これでできる！収支日計

物流業界を取り巻く環境は、依然として過大な価格競争などを背景に、利益が上がりづらい構造となっています。そのようななか、高い生産性を実現し、収益を確保している物流企業の多くで、「収支日計」が活用されています。

「収支日計」とは、車両、ドライバー、または、物流センターごとに日別の収支管理を行う手法で、日々のオペレーションを商品とする物流業に適した「管理会計」の一つです。日次決算とも呼ばれるこの手法は、毎日の売上から原価（変動費・固定費）を引いて、一日ごとにおける個々の損益を「見える化」します。

日々の損益を「見える化」することにより、どこで儲けて、どこで損をしているかが明らかになるとともに、浮かび上がる問題点に対して、すみやかに改善へと取り掛かることができます。従業員は、自身に関わる業務の損益が明示されることで、自発的な改善へと動き出します。

本セミナーでは、車両と物流センターにおける収支日計の運用を中心に、難解なテクニックや高額なツールを必要としない、実務に即した収支日計のノウハウを解説いたします。

皆様からの積極的なご参加、お待ちしております。

※演習を行いますので、パソコンまたは電卓をご持参ください。

## プログラム

2017年11月14日(火)10:00~17:00

1	物流企業の経営状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物流企業の経営状況</li><li>・ 物流・輸配送を取り巻く環境</li><li>・ 物流コストの構成</li></ul>
2	「収支日計」の導入実態	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「収支日計」の導入実態</li><li>・ 管理会計と財務会計の使い分け</li></ul>
3	「収支日計」運用のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 収支日計の目的</li><li>・ 収支日計運用のポイント</li><li>・ 収支日計（サンプル）解説</li></ul>
4	「収支日計」の本当の目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「車両別収支日計」導入のポイント</li><li>・ 「収支日計」の本当の目的</li></ul>
5	収益アップへのアプローチ具体策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 配車業務との連携</li><li>・ 営業との連携</li></ul>
6	物流センターの収支日計	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物流センターの収支日計</li><li>・ 収支日計（サンプル）解説</li><li>・ 物流センターの収支日計による改善と管理手法</li></ul>
7	(演習) 「収支日計表作成の基礎設計」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 収支日計表作成の基礎設計</li><li>・ 車種・運行内容ごとの係数設定</li><li>・ 収支日計表のフォーマット作成</li></ul>

## 講師プロフィール

くろ さわ  
黒 澤

あきら  
明 氏

株式会社物流改善事務所  
代表取締役

7年間の物流会社勤務の後、日本ハム物流子会社設立参画を経て、物流コンサルティング会社へ入社。同社取締役を経て2005年物流コンサルティング会社を設立し、代表取締役を10年務める。2014年新たに(株)物流改善事務所を設立し現在に至る。「利益貢献する物流現場作り」を信念に、精力的に活動している。業界新聞・雑誌など執筆多数。